

E. coli由来のネイティブ6-ホスホ-D-グルコン酸脱水素酵素

Cat. No. NATE-1167

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ホスホグルコン酸脱水素酵素（脱炭酸化）（EC 1.1.1.44）は、次の化学反応を触媒する酵素です： 6-ホスホ-D-グルコン酸 + NADP+ $\leftrightarrow$ D-リブローズ 5-リン酸 + CO₂ + NADPH。したがって、この酵素の2つの基質は6-ホスホ-D-グルコン酸とNADP+であり、3つの生成物はD-リブローズ 5-リン酸、CO₂、およびNADPHです。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とするドナーのCH-OH基に作用するものです。

用途 食品中のD-グルコン酸およびD-グルコノ-6-ラク톤の定量。

別名 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素; ホスホグルコン酸脱水素酵素; 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素; 6-ホスホグルコン酸カルボキシラーゼ; 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素 (脱炭酸); 6-ホスホ-D-グルコン酸脱水素酵素; EC 1.1.1.44; ホスホグルコン酸脱水素酵素; 脱炭酸; 9073-95-4

製品情報

由来 大腸菌

形態 硫酸アンモニウム中の懸濁液

EC番号 EC 1.1.1.44

CAS登録番号 9073-95-4

活性 > 150 UI/ml, > 45 U/mg

最適pH 7.5

最適温度 55 °C

単位定義 6-ホスホ-D-グルコネート脱水素酵素の1単位は、グルコネートキナーゼとの連結アッセイにおいて、NADP+から1μmoleのNADPHを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C